

藪塚地域における土地利用に関するワークショップ
報告書

令和5年2月

目次

1	はじめに	3
2	実施概要について	3
2.1	目的	3
2.2	参加者	4
2.3	開催内容	4
3	提案内容について	6
3.1	全体的な方向性	6
3.2	エリア毎の方向性	8
3.2.1	太田藪塚 IC 周辺エリア	8
3.2.2	太田藪塚 IC 周辺エリア（南部）	10
3.2.3	藪塚行政センター周辺エリア	11
3.2.4	藪塚温泉周辺エリア	13
3.2.5	藪塚駅（西側）周辺エリア	15
3.2.6	桐生新田線・山之神交差点周辺エリア	16
3.2.7	その他の意見	16
3.3	配置図	17
4	まとめ	17
5	参考	19
5.1	藪塚地域がどんな街になってほしいか	19
5.2	やぶづか夢プラン	20
5.3	ワークショップでの議論の様子	20
5.4	ワークショップへの参加募集	21
	別図 配置図	
	参考資料 1 やぶづか夢プラン	
	参考資料 2 ワークショップでの議論の様子	
	参考資料 3 ワークショップへの募集案内通知	

1 はじめに

太田市長 清水聖義 様

私たちは、藪塚地域における土地利用をテーマに、4回の会議を開催し、議論を重ねてきました。土地利用と言っても、線引き、非線引きといった都市計画については、初めて聞く内容が多く、また、難しい内容ばかりでしたが、自分たちが住むこの藪塚をどのようにすれば住みやすい街にできるのかということを念頭に、勉強しながら議論を進めてきました。

議論の前半は、自分たちが住む藪塚がどんな街になってほしいかという将来像に始まり、近くに商業施設が欲しいなどといった意見が多く挙げられましたが、それらが単なる夢で終わらないよう、具体的に何をしなければならないかと議論を重ねるうちに、自分たちが望むものだけではだめで、制限といった自分たちが望まないものも必要だと気づきました。

私たちの「気づき」や議論が、少しでも藪塚の将来のためになればと思い、この報告書を作成しました。この報告書が、住みやすい藪塚のために少しでも役に立てば幸いです。

このような貴重な議論の場を設けてくださった太田市長をはじめ太田市の皆様に心より感謝します。ありがとうございました。

令和5年2月

藪塚地域における土地利用に関するワークショップ 参加者一同

2 実施概要について

2.1 目的

令和3年度に太田市が実施した「藪塚地域における土地利用に関するアンケート」において、建築物用途の混在などの土地利用から生じる課題やまちづくりに対する要望など住民が感じている意見が数多くありました。

これらの課題の一部は、都市計画というまちづくり手法を用いれば解決できるものがあることから、その解決手法の一つとして、藪塚地域にゾーニング（住居系、商業系、工業系など土地利用に関する区域配置）をした方が良いか否か、した方が良好とした場合にはどのような配置にするのが良いか、また、しない方が良好とした場合にはどのような改善方法があるかということについて、ワークショップ形式で議論しました。

2.2 参加者

住民参加者（50音順・敬称略）

阿部 理恵	飯塚 晃	宇野 英津子
栗原 文恵	小杉 優也	酒井 啓
坂野 絵美	高井 宏和	高橋 春生
田谷野 紀男	法橋 祐介	丸山 夏蓮
峯岸 里佳	山本 直明	

※参加者は、太田市住民基本台帳から無作為に抽出し参加募集の通知を送付した藪塚地域在住の1,000人のうち、参加する旨の回答があった者です。

コーディネータ（議論の整理役）

為国 孝敏 博士（工学）

NPO 法人まちづくり支援センター代表理事

株式会社 T.O. パートナーズ代表取締役

国土交通省関東運輸局地域公共交通マイスター

総務省地域力創造アドバイザー

2.3 開催内容

第1回会議

日時：令和4年10月8日（土）午後1時30分～午後4時30分

内容：概要説明（太田市都市計画課）

参加者等の自己紹介

アンケート結果の報告及び都市計画制度の説明（太田市都市計画課）

議論 藪塚地域がどんな街になってほしいか

「やぶづか夢プラン」を見た感想

第2回会議

日時：令和4年11月12日（土）午後1時30分～午後4時30分

内容：第1回会議振り返り

議論 エリア毎の土地利用の方向性について

第3回会議

日時：令和4年12月3日（土）午後1時30分～午後4時30分

内容：第2回会議振り返り

議論 前回議論した内容を実現させるために具体的に何をしたら良
いか

第4回会議

日時：令和5年1月7日（土）午後1時30分～午後4時30分

内容：第3回会議振り返り

議論 報告書（素案）の確認

参加者の感想

コーディネータ講評

3 提案内容について

土地利用という普段生活している上ではあまり馴染みのない内容について議論することにあたり、まず、自分たちの住む藪塚地域がどんな街になってほしいかということをお話ししました。

その上で、過去に私たちと同じように藪塚地域のまちづくりについて議論をしていた「藪塚地区まちづくり研究会」という団体が、平成 23 年に太田市へ提案した「やぶづか夢プラン」を基として、提案から 10 年という時間が経過したことに伴う街の変化を加味しながら、ゾーニングの必要性について議論し、その在り方をまとめました。

3.1 全体的な方向性

「まとまりを作るためにはゾーニングをした方が良い」

ゾーニングを実現させるために必要なことは

- ・ゾーニングされたエリア内の魅力を高めること
- ・ゾーニングされたエリア外に制限を課すこと

自分たちの住む藪塚地域のことについて、どうあってほしいかという将来像から始まり、エリア毎に現状と方向性を考え、自分たちが考えた内容を実現させるためには具体的に何をしなければならないかを考えた中で、

「まとまりを作るためにはゾーニングをした方が良い」

と、結論付けました。そして、ゾーニングされたエリアに人や物を集めるといった内容を実現させるためには、

- ・ゾーニングされたエリア内の魅力を高めること
- ・ゾーニングされたエリア外に制限を課すこと

をする必要があると結論付けました。(ここで言う魅力とは、住居系エリアにおいては、道路、公園などの公共施設の整備や店舗などの存在による利便性の高さ、周辺の騒音や交通に対する危険が少ないことによる安全安心の高さのことを、商業系エリアにおいては、店舗などの集約による利便性の高さ、人が集まることによる商圏の確保のことを、工業系エリアにおいては、騒音や車両などに対する苦情が少ないことによる操業環境の良さのことを言います。一方、制限とは、住居系、商業系、工業系それぞれにゾーニングされたエリア以外のエリアではそれぞれの種別の建築物が建築できないようにすることを言います。)

しかしながら、制限を課す場合、制限の強弱によって地価が変動すること

が想定されることから、土地を持っている人への配慮が必要であったり、今までなかった制限を新たに加えることから、ゾーニングされたエリア以外のエリアに既に住んでいる住民や操業している事業者への配慮が必要であったりと課題もあると考えます。

全体的な方向性に関する意見は、次のとおりです。

- ・ まず人口を増やさないと、商業系の建物も集まらないし、行政も動かない。そうすると外から人も来ない。
- ・ まず魅力を知ってもらうことが大切である。市のホームページ等で魅力を発信したい。
- ・ キャッチフレーズ等で、豊かな自然をPRする。
- ・ 公園は住民のたまり場になるので、公園を整備することは人が集まることに繋がると思う。住居系のエリアには全体的に公園が必要である。また新しく公園をつくるのも良いが、既存の公園を充実させるもの良い。
- ・ 藪塚の東部は、住居系で藪塚内部の人が住みやすいようにし、西部は商業系で外から人が来るようにしたい。そのために住商工エリア外には何らかの規制が必要である。
- ・ 住居系エリア以外には居住できないように何らかの制限をかければ良いのではないか。例えば、住居系エリアは誰でも家を建てられるが、住居系エリアの外側は昔から藪塚に住んでいる人以外は家を建てられないようにする等。
- ・ まち全体的に、何を建てるにしても、道が狭すぎて混雑してしまうので、道路の整備は必須。
- ・ 昔はまち全体が栄えていて、三日月村や温泉街は休みの日には人で溢れていた。その観光資源を活かせるようなまちづくりをしたい。
- ・ 市街化編入することによる地価の変動が気になる。土地を持っている方にも配慮が必要である。
- ・ 藪塚は農業のまちでもあるので、田畑を守っていかなくてはならないというのも分かる。
- ・ 現在の藪塚は非線引き地域で開発もある程度自由にできるにもかかわらず、まちが栄えていないということは、線引きしたからと言って栄えるわけではないと思う。
- ・ 藪塚で必要なものが揃わず、買い物に行くとなれば外に行くことになるので、より生活に必要な商業店舗ができれば良い。

3.2 エリア毎の方向性

「やぶづか夢プラン」の中で提案されていたエリアを参考に、藪塚地域における代表的なエリアを取り上げ、そのエリアにおける目標と土地利用などの方向性について具体的に議論しました。その内容は、次のとおりです。

3.2.1 太田藪塚 IC 周辺エリア

エリアの目標 ⇒ **【商業系エリア】**

藪塚地域の玄関口として内外から人が集まる商業系エリア



土地利用の方向性

- ・ 商業系が良いと思う。(大原境三ツ木線沿線)
- ・ 内だけでなく、外からも人が集まるようにしたい。
- ・ 商業系ではあるが、既に住んでいる方にも配慮したい。
- ・ 大型商業施設を誘致したい。
- ・ 太田市は市外の方に聞くと、子育てしやすく、住みやすいと言われ、ショッピングモール等もあり、魅力を高めている。しかし、藪塚や尾島はそういったものが充実しているとは言えない。商業系の企業を誘致したい。
- ・ 農地を活かした商業施設があっても良いと思う。
- ・ ホテル、飲食店、商業施設を誘致し、IC 及びその周辺の利用者獲得を目指す。
- ・ 大型倉庫を IC 周辺に作れるようにし、活性化をはかる。

- ・ IC 周辺の開発強化。
- ・ IC ができて街が活性化すると思っていたがそうではなかった。もっと IC を利用して活気つけていきたい。
- ・ 桐生伊勢崎線沿線は商業系に特化して、人が住めないようにしても良い。外から人が来てほしいエリアである。工業系も規制すべきである。

施設整備の方向性

- ・ 太田藪塚 IC 付近の、事故のあった交差点に歩道橋を設置し、子どもが安全に通行できるようにしたい。
- ・ 沿線に花等を植えて景観をよくしていけば良い。
- ・ 西部ふる里公園をリニューアルしたい。
- ・ ゲートボールやテニス専用の公園にする必要はない。
- ・ 複合施設（スーパーや 100 均など）を作ることで、内外からの集客を狙う。また、住居系エリアの交通量を逃がす。

現状の分析

- ・ スーパーが近くにあり、住みやすい。
- ・ 何も無さすぎて、ツーリング等の待ち合わせ場所にもならない。藪塚に住んでいるのに、いつも道の駅おおた等で待ち合わせする。
- ・ 太田藪塚 IC 周辺の活気は、国道 17 号沿線（道の駅おおた等）や強戸 SIC に負けている。
- ・ 藪塚の玄関口なのに、施設がなく寂しい。伊勢崎やみどり市の方へいってしまう。
- ・ 道がきれいに整備されているのにもったいない。
- ・ 藪塚全体の話だが、夜（仕事終わりから）やっている飲食店が少ない。

3.2.2 太田藪塚 IC 周辺エリア（南部）

エリアの目標 ⇒ 【工業系エリア】

既存の産業集積を活かした工業系エリア



土地利用の方向性

- ・ 工業系は太田藪塚 IC から少し離したい。外から来た人が IC を降りたときに、商業的な活気を見せたいので、既存の工業系土地利用されているエリアにまとめたい。
- ・ 工業系の中でも、化学薬品系はやめてほしい。
- ・ 工業系は藪塚南部に集約する。
- ・ 深谷のように行政主導で、企業誘致を行ってもらえるとまちが活性化すると思う。
- ・ 山之神エリア等、既存の工業地帯に工場が集まると良い。どこでも工場が建てられてしまうのは良くないので、規制が必要である。道幅がない箇所に運送業の企業が入ってきてしまうのは、規制がないからである。
- ・ 学校周辺や駅周辺を住居系として区域取りする。

施設整備の方向性

- ・ 道路の拡幅までは難しくても、ゾーン 30 やスクールゾーンなどの交通規制は必要である。子どもがいかに安全に登下校できるかがポイントになる。

3.2.3 藪塚行政センター周辺エリア

エリアの目標 ⇒ 【住居系エリア】

藪塚地域の生活拠点として多数の公共施設が集まる住居系エリア



土地利用の方向性

- ・ 当該エリアは外からというより、内の人が集まる場所である。
- ・ 飲み屋がないので、飲食店程度の規模の店舗はほしい。
- ・ 住居系といっても、生活する上で必要なスーパー・コンビニはあっても良い。
- ・ スマークやイオンといった大型商業施設はこの場所にはいらない。
- ・ 混雑してしまうので、スマークやイオンのような大きいものは要らない。
- ・ 行政センター周辺の開発強化。
- ・ 工場に対し周辺住環境への注意喚起及び規制する。
- ・ 住みやすいエリアにするため、騒音レベル、稼働時間等に厳しい規制を設ける。(隣が工業で夜遅くまでやっているときがあり、注意喚起をした)

施設整備の方向性

- ・ 子どもが安全に道を渡れるように、歩行者用信号機を設置してほしい。
- ・ 利便性が高いが、道が狭い。藪塚の中でも最優先で道の整備を進めるべき。

- ・ 行政センターの西側道路は歩道がなく、危険である。道路の整備も住みやすさに繋がる。
- ・ 道が狭いが道を広げるのは現実的ではない。
- ・ 横断歩道を紅白にする、歩道を広く見せるように描く、看板等を工夫するなど、ドライバーの視覚へ訴えることで安全を確保する。
- ・ 小中学生の通学、下校時間帯に交通規制を行い、安全の確保（スクールゾーン等）を行う。
- ・ 歩道が狭く、子どもが遊ぶ場所がない（公園があっても遊具がない）ので、行政センター周辺を再整備してほしい。
- ・ 図書館を拡大し、子どもたちの利用者を増やす。
- ・ カフェを図書館に併設させることで、借りた本を読める場所、ちょっと休憩できる場所を作る。
- ・ 図書館を充実させる。（蔵書を増やす、カフェの併設等）
- ・ 児童クラブやフリースペースといった子どもたちが集まって学ぶことができる場所があった方が良い。
- ・ 何かを新しくするなどはいろいろな制約があるため、既存施設を強化し、利用率を上げる。
- ・ 当該エリアは公共施設が集まっているので、今からどうこうするのは難しいのではないか。

現状の分析

- ・ お年寄りのための公園になっている（ゲートボールやウォーキングコース等が整備されている）。
- ・ 住宅、郵便局、行政施設、スーパー、コンビニ等があり、藪塚の中で利便性が高い。
- ・ 文化施設等が多くあるので、施設があることの周知したほうが良い。

3.2.4 藪塚温泉周辺エリア

エリアの目標 ⇒ 【住居系又は商業（観光）系エリア】

自然と調和し、住む人にも来る人にも優しい住居観光系エリア



土地利用の方向性

- ・ 商業系だけでなく、住居系も入れたい。
- ・ 商業施設を充実させたい。
- ・ 温泉施設を充実させ、集客したい。
- ・ 温泉街付近に、せめてコンビニがあると良い。
- ・ コンビニ等を作る。
- ・ キャンプ場、グランピング場があると良い。
- ・ キャンプブームに乗っかり、キャンプ場を作る。
- ・ 三日月村や石切場跡の風景は、コスプレ撮影会の名所にできる。
- ・ 人が少なく、ほぼ田のみなので、人口を増やして活気あるまちにしたい。
- ・ SNS を活用すればもっと観光資源を活かせる。
- ・ スネークパークや三日月村といった資源を活かしていけたら良い。
- ・ 藪塚は自然が多い点も魅力であり、自然の中で子どもも遊べるといったキャッチフレーズで魅力を発信したい。
- ・ 温泉街エリア北部は桜が魅力的である。市が桜祭等開催すると人が集まる。
- ・ 温泉街エリアの桜のライトアップや稲作の時期外の田を活用した花の植栽で外から人を呼ぶ。

- ・ 温泉やスネークパークなどの広報と併せて、IC 周辺の周知にもつなげるため、ガイドマップ（藪塚エリア全域）をつくる。

施設整備の方向性

- ・ 三島神社公園周辺で子どもが安全に遊べるように明るくしたい。
- ・ 三島公園はスペースが広く、遊具等を設置できる。地域猫とふれあえるのも魅力になる。
- ・ 公園のトイレが汚いと人が来ない。和式は使わない。
- ・ 三原通りはかかし祭などもあり、活気があるので、そこに公園があると良い。
- ・ ハイキングコースの整備。
- ・ 自然がたくさんあるので、それらを活かしたハイキングコース等を整備すれば良いのではないか。
- ・ 石切場跡まで入れるように道路等を整備する。
- ・ 三島神社や道の駅を作り、イベントを行い、集客をはかる。
- ・ 住む人を増やして、このエリアに学校をつくりたい。（藪塚中がマンモス校すぎる、遠い）
- ・ 周辺施設とも連携を図り、相乗効果を狙う。

現状の分析

- ・ 道路と水路の境がない。
- ・ 電車を利用して藪塚温泉を訪れる人がいるのか。
- ・ 東毛青少年自然の家周辺は、埃も少なく、閑静で住みやすいのではないか。
- ・ 駅から施設までが暗い。

3.2.5 藪塚駅（西側）周辺エリア

エリアの目標 ⇒ **【商業系エリア】**

鉄道駅前の利便性を活かした生活交流型の商業系エリア



土地利用の方向性

- ・ 太田大間々線沿線は、商業系が良いと思う。藪塚駅を利用する高校生が利用できるような店舗があると良い。
- ・ 飲食店を増やす。
- ・ 駅前通りの空き店舗を利用する。
- ・ 藪塚駅に遊びに来る場所、待てる場所、集まる場所を作ることによって駅前を賑やかにする。駅周辺の雰囲気は暗い。

施設整備の方向性

- ・ 暗いので外灯を設置する。明るすぎるくらいでも良い。
- ・ 駅改札を両側に作る。
- ・ 両側へ抜けられるようにして、駅周辺の渋滞、混雑緩和を目指し、観光地への窓口にもなる。
- ・ 学生たちが待てる場所、フリースペース等ができれば良い。

現状の分析

- ・ 駅利用者の待つ場所がない。

3.2.6 桐生新田線・山之神交差点周辺エリア

エリアの目標 ⇒ 【商業系エリア】

高速道路側道沿道の利便性を活かした商業系エリア



土地利用の方向性

- ・ 高速道路北側側道沿線は、商業系が良いと思う。(大原境三ツ木線付近から太田大間々線付近まで)
- ・ 高速道路の沿道には何も建っていないので商業施設など有効活用できれば良い。

施設整備の方向性

- ・ 道路の冠水対策が必要。
- ・ 桐生新田線の整備強化。

3.2.7 その他の意見

- ・ 昔よりは良くなったが、まだまだ課題はある。
- ・ 藪塚町南部の歩道は雑草と砂で歩きづらい。
- ・ 六千石町あたりの調整池を活用してほしい。
- ・ 農産物を盛り上げるため、農業法人を誘致したらどうか。
- ・ スタンプラリーのようなイベントを行い、藪塚の良いところを紹介したい。
- ・ 猪など野生動物との共生を考えていかななくてはならない。

- ・ 子どもが遊べる公園作り。
- ・ 公園に関しては、今あるものをよりよくしていければ良い。
- ・ お年寄りや足の不自由な人などへの交通支援やバリアフリー化の充実。

3.3 配置図

前述までの提案内容を図示した場合、別図のとおりとなります。

4 まとめ

このワークショップには、本当に色々な方々が参加しました。世代も違うし、職業もバラバラでした。生まれてからずっと藪塚に住んでいる方もいれば、引越して移り住んだ方もいました。参加を決めたきっかけもそれぞれです。興味本位だったり、市に要望を言いたかったり。

でも、みんなに共通していたのは、自分たちが住んでいる藪塚が好きで、もっと良くなってほしいという思いです。

今回の議論で出た結論や意見の中には、できることもあれば、できないこともあると思います。でも、これをきっかけにして、自分たちが住む藪塚がもっと住みやすくなってくればと願っています。

最後は、このワークショップを終えた際の参加者みなさんの感想を綴って終わりたいと思います。

- ・ このようなまちづくりに関することに自分が委員として選ばれて、出席できたということで藪塚地域をより深く愛していきたいという思いを強く感じた。今後も会議等があれば積極的に参加していきたいと思う。
- ・ 市の方に市民の要望を伝える機会というのはなかなか無いので良い機会であったなと思っている。個人的には藪塚 IC 周辺に関して、太田・桐生 IC のような工業的にするのではなく、藤岡 IC といったような方向に進んでいくくれたら良いという思いがある。自分の意見がしっかり伝えられたと思う。
- ・ 生活しているだけでは藪塚地域のことをなかなか考えることは無いので良いきっかけとなったと思っている。実際に参加していく中で新しく得られる情報、知識もあって、実りのある時間だった。
- ・ 今回自分が住むまちについて考える良いきっかけになったと思っている。子育て世代というところに目を向けてしまっているところがあったが、WS に参加し、みなさんと話しているうちに、長期的に考えて、小さい子からお年寄りまで世代にわたって長く住めるまちづくりを目指していけたらなというを感じた。より良いまちになることを願っている。

- ・ 今回のWSに参加したのは興味本位だったが、みなさんの話や専門家の方の意見を聞いていくうちに自分が思っているのとは違う意見がでて、私自身も好き勝手意見を出したが、みなさんが藪塚を愛しているのが伝わり、良い経験ができた。その経験を今後活かしていければなと思った。
- ・ 自分の意見とみなさんの意見を共有できて、とても良い経験となった。今回出た意見を何か1つでも実現できれば、みんなで考えて出した答えの結果につながると思う。
- ・ 藪塚の駅から温泉神社へ行き、山の方をずっと回って駅に帰ってくるという散歩コースを作ってもらって、途中にベンチなど休む場所があれば良いと思っている。
- ・ 隣接市町から引っ越して数年が経過した。最初WSの参加募集通知を受け取ったとき、正直誰もいないのではないかという気持ちがあり自分が参加しなきゃと思い、申込みをした。実際には14名も集まり、藪塚に関心がある人がこんなにもいることをうれしく思った。今回でWSは終わるが、これからこのような機会があれば参加したいと思ったので、これからもみなさんで藪塚地域に関して考えていければと思った。
- ・ 長いこと藪塚に住んでいるが、藪塚の地図を見ることは初めてで、いろいろ知らないことや、良いこと悪いことがいっぱいあることを知れて勉強になった。今まで住んでいた中で思っていたことがみなさんも一緒のことを思っていたということと、その思いを市に伝えられたということはよかったと思う。
- ・ 為国先生やみなさんの意見等からなんとか答えが導き出せたのかなと思っている。報告会が楽しみである。最初は答えが出るのかなと不安であったが、みなさんと意見を出していくうちに、思っていることが一緒だということが認識できた。今回作ったものがこの先どうなっていくかわからないが、WSで議論した内容が少しでも藪塚のためになれば良いと思う。
- ・ 藪塚に来て数十年経過したが、来たときは高速道路が作られたり、周辺道路が整備されたりと、まちが発展していくのだな、楽しみだなどと思って家を建てて住み始めた。そこから数十年経つがあまり変わってこなかったなと思った。だから、この話をきっかけに住みやすいまちになってほしいし、子どもたちにとっても住みやすいまちになってほしいと思った。
- ・ 今回は夢プランではなく、かなり現実的な意見を出させてもらい、中には明日からでも変えられるような意見を出させてもらった。なるべく今回の話し合いが無駄にならないように実行をしてもらえれば良いなと思う。

5 参考

5.1 藪塚地域がどんな街になってほしいか

土地利用という普段生活している上ではあまり馴染みのない内容について議論することにあたり、まず初めに、自分たちの住む藪塚地域がどんな街になってほしいかということ話し合いました。その内容は、次のとおりです。

(全般)

- ・ 年齢などが異なるので難しいと思うが、なるべく皆が住みやすいようにしたい。
- ・ ゾーニングに賛成、早くやってほしい。

(道路関係)

- ・ 高崎、前橋、伊勢崎を手本にしたらよいと思う。(道路が広いため)
- ・ 安全な道路がほしい。
- ・ 道、歩道が狭く、トラック等の交通量も多いため通学の際とても危険。
- ・ 歩道がない、狭い、雑草や土で通りづらい。
- ・ 歩行者用の信号機がない。
- ・ 雨が降ると、道路が水没し、川のようになる。(山之神町)
- ・ 道路わきに水路があって、ガードレールしかないので子どもが落ちそうで心配。
- ・ 街灯がない。(温泉街、古墳周辺)

(商業施設・開発関係)

- ・ 藪塚の玄関口である太田藪塚 IC 付近の印象があまり良くない。(家畜の匂い、強戸 SIC のようなお土産を買える店もない。)
- ・ IC ができたのに周辺がとても寂しい。駅周辺に関しても同じく寂しいため、交通機関以外を目的として訪れることができる施設(道の駅やレストラン)を作った方がよい。
- ・ 温泉街にお店を増やしてほしい。コンビニすらない。暗い。
- ・ 温泉、古墳、三日月村、スネークセンターなど観光資源がたくさんあるのに活かしきれていない。
- ・ 桐生伊勢崎線沿道に大型商業施設があると良い。
- ・ 駅前が寂しい。
- ・ おいしいレストランがあれば良い。

- ・ アウトドア施設を作る。

(公園関係)

- ・ 公園の整備をしてほしい。
- ・ 太田市内の公園をもっと PR した方が良い。
- ・ 公園は多く存在するが、遊具がなく、あったとしても古くて遊ばせられないため、子どもが遊べる公園がほしい。
- ・ 三島神社周辺を子どもが遊べるように活性化してほしい。
- ・ 調整池をグラウンドなどとして活用できないか。

(下水道関係)

- ・ 下水道整備をしてほしい。

(その他)

- ・ 子どもが多い。
- ・ もう一つ中学校があっても良い。
- ・ 図書館の視聴覚の内容が弱い。
- ・ 病院が古い。
- ・ 猪、猿などが出没して危ない。
- ・ 野菜だけではなく酪農も推していく。

5.2 やぶづか夢プラン

「やぶづか夢プラン」とは、「藪塚地区まちづくり研究会」が平成 23 年に太田市に対して藪塚地区の将来イメージを提案したものです。「藪塚地区まちづくり研究会」とは、平成 20 年度に太田市主催で実施した「まちづくりワークショップ事業」をきっかけに発足した地域住民有志によるまちづくり団体です。太田市に提案した「やぶづか夢プラン」は、参考資料 1 のとおりです。

5.3 ワークショップでの議論の様子

ワークショップでの議論の様子及び各回における議論の成果は、参考資料 2 のとおりです。

5.4 ワークショップへの参加募集

ワークショップへの参加者を募集するにあたり、太田市は、太田市住民基本台帳から無作為に抽出した藪塚地域在住の 1,000 人に対して通知を送付しました。その通知は、参考資料 3 のとおりです。